

2025年4月30日

第65回獣疫学会学術集会で優秀発表賞を受賞

2025年3月9日に開催された第65回獣疫学会学術集会において、日生研の米澤世利子が演題「2020～2023年における国内の豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルスの遺伝的多様性」の発表で優秀発表賞を受賞したので御報告申し上げます。

受賞対象

2020～2023年における国内の豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルスの遺伝的多様性

○米澤世利子^{1, 3}、平修²、加藤篤²、高井亮輔²、松山亮太³、蒔田浩平³

¹日生研株式会社、²一般財団法人日本生物科学研究所、³酪農学園大学

講演概要

PRRSウイルス（PRRSV）は欧州型（PRRSV1）と北米型（PRRSV2）の2種に分類されます。PRRSVのオープンリーディングフレーム（ORF）5遺伝子は遺伝的変異が多い領域であるため疫学的解析によく用いられ、この遺伝子解析によって日本国内に浸潤するPRRSV2は5つのクラスター（I～V）に分類されています。2020～2023年に検出された日本国内のPRRSV2の解析により、地域ごとにクラスター分布に偏りが認められました。各地域の主要なクラスターは、北海道でクラスターII、東北及び四国でクラスターI、関東、東海及び九州ではクラスターIIIでした。また、本研究のクラスターIIIは1992-1993年に検出されたクラスターIIIよりも参照株（EDRD-1）との塩基配列相同性が低下していることが明らかとなり、時間経過とともに遺伝的変化があることが示唆されました。続いて、関東地域の農場から得られた配列について生ワクチンの使用歴の情報を収集し、生ワクチンの使用歴の有無でクラスター分布を比較したところ、使用歴のある農場ではクラスターI～IVが検出され、使用歴がない農場ではクラスターIIIまたはIVが検出される傾向が見られました。この結果により、生ワクチンの使用歴が流行株のクラスター分布に影響を与えている可能性が示唆されました。

本講演の講演要旨は、当該学術集会の講演要旨集を御参照ください。